



祓川町八月踊り（祓川町）

昔 昭和49年



今



旧暦の8月頃に各地でみられる「八月踊り」。祓川町^{なかほうぎり}中方限方面では、江戸中期から今に伝えられています。法楽^{ふらく}という奉納踊りで水神様を楽しませ、歌や三味線、太鼓に合わせて円になって踊ります。祓川町八月踊りは市の指定無形文化財で、これからも地元の人々によって受け継がれていきます。



昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ！

カノヤタイムトラベル

一家に一台マイカー元年

高度成長期真つただ中の昭和41年を節目として、それまで一部の富裕層の乗り物であった乗用車が一般にも普及し始めました。この年は後に「マイカー元年」と呼ばれることとなります。

昭和39年の日本国内の自動車保有台数は約499万台で、当時の先進国と比べると自動車普及率は低い水準にありました。しかし、その後の急速な普及によって、マイカー元年の翌年である昭和42年には国内台数1,000万台を超え、昭和51年には3,000万台を突破。旧鹿屋市においては、終戦直後の昭和22年の自動車台数は119台に過ぎませんでした。



昭和41年には市内8か所に私営駐車場が、昭和46年には北田町に大型市営駐車場が完成しました。



路上駐車増加から「駐車えんりょ地域」という区域もありました。

昭和31年頃の軽自動車等の普及に伴い、マイカー元年の終わりには828台まで増加。昭和44年には17,000台以上もの自動車台数となりました。

現在の鹿屋市の登録車両台数は104,500台(令和2年末時点)。自動車の性能向上や道路網の整備によりその利便性は向上してきましたが、同様に交通事故をはじめとした交通問題も増加。市内における令和2年度の交通事故件数は279件となっています。

どんなに便利なものでも、使い方を誤ると危険なものとなります。これから交通事故が増加傾向にある年末年始ですが、健康やかに新年を迎えられるよう安全運転を心掛けましょう。